

お知らせ

資料提供先 鳥取県政記者会
鳥取市政記者クラブ

発表

千代川の治水事業効果について

～台風18号（平成29年9月17日から18日）における効果～

平成29年9月17日から18日にかけて、台風18号（タリム）の影響で、千代川流域では流域平均累加雨量は175mmにのぼり、砂見川の岩坪雨量観測所では、累加雨量が240mmを記録しました。

この大雨により、千代川水系千代川 袋河原水位流量観測所（鳥取市河原町袋河原大字袋河原字中古川448-2）で**避難判断水位を超過する洪水**となり、鳥取市において避難勧告等の避難情報が発出される状況となりましたが、これまでの河川整備により千代川の決壊等による被害を防止することができました。

○発表資料（千代川水系千代川及び袋川における治水事業の効果）

① 殿ダム整備による袋川の水位低減効果 資料-1

殿ダム流域では、平成24年に完成以降、最大の流入量130m³/sを記録したが、そのうち、110m³/sをダムに貯留した。ダムの防災操作により、袋川中郷橋付近（鳥取市国府町宮ノ下小学校付近）において、0.37mの水位を低減したと推定される。

② 河川整備による千代川の水位低減効果 資料-2

千代川佐貫橋付近（鳥取市河原町佐貫）において、徳吉堰改修と河道掘削により、約0.5mの水位を低減したと推定される。

③ 洪水に対する事前対応 資料-3

千代川雛橋付近（鳥取市用瀬町用瀬）において、洪水の事前対応として止水板を設置し、洪水に備えた。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL 0857-22-8435（代表） FAX 0857-29-8548

副所長（河川）

つねやす まさひろ
常保 雅博
まるした じゅんいち
丸下 淳一

【担当】 工務第一課長

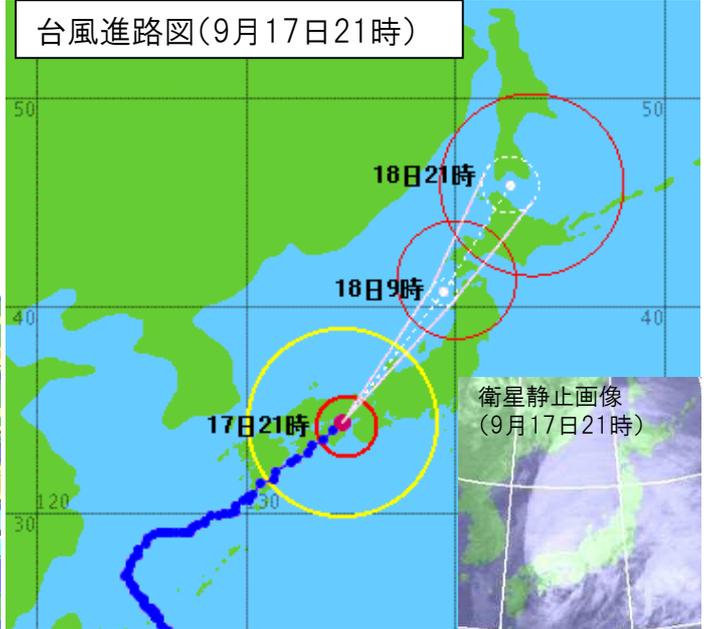
治水事業の効果(速報)

～平成29年9月17日・台風18号(鳥取県 千代川)～

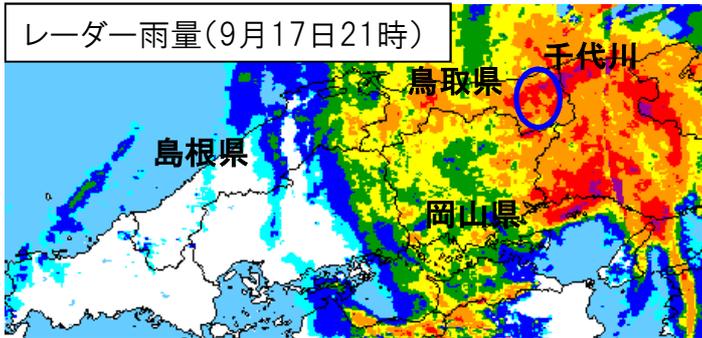
台風18号の通過により、9月17日より九州、四国、中国地方等広範囲で大雨となった。局所的には1時間に100mmを超える猛烈な雨を記録し、鳥取県東部の鳥取市鹿野においては、1時間に63.5mmの降雨を記録した。

千代川流域では、流域平均の総雨量は175mmにのぼり、砂見川・岩坪においては240mmに達した。

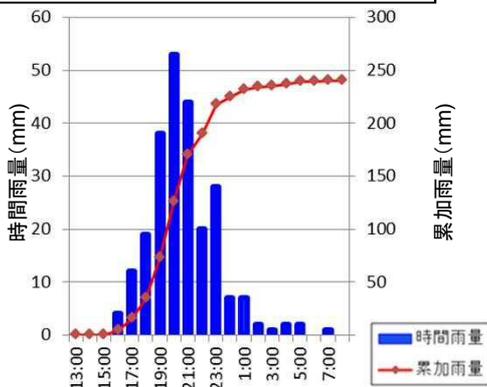
台風進路図(9月17日21時)



レーダー雨量(9月17日21時)



雨量状況(岩坪雨量観測所)



等雨量曲線9月17日15:00～18日6:00



出水状況(9月18日1時頃)



全国の一般被害状況

(消防庁調べ9月20日18時30分現在より抜粋)

死者	2人
行方不明者	1人
全半壊一部破損	390棟
床上浸水戸数	1,161棟
床下浸水戸数	2,507棟

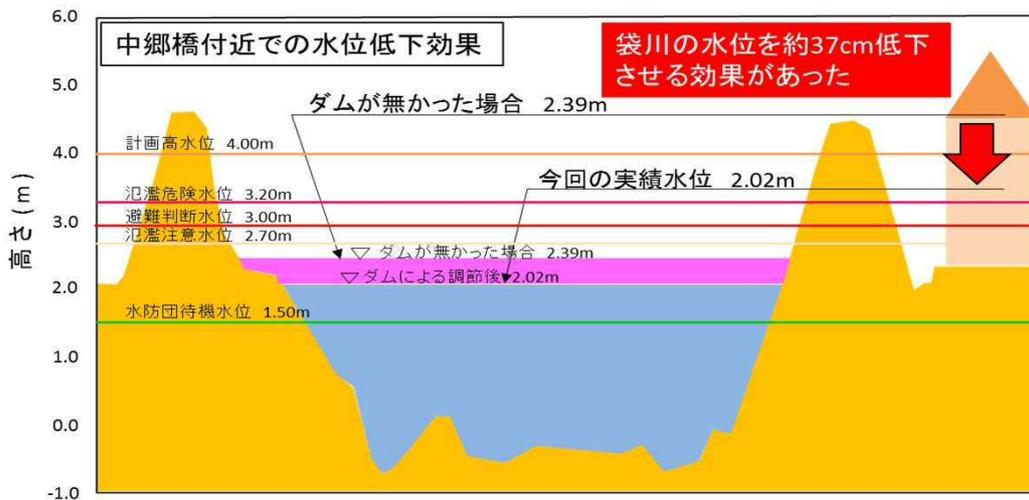
鳥取県の一般被害状況

(消防庁調べ9月20日18時30分現在より抜粋)

床上浸水戸数	30棟
床下浸水戸数	69棟

ダム整備が効果を発揮(鳥取県 殿ダム)

- 平成29年9月17日から台風18号による大雨によって、袋川で洪水が発生。
- 殿ダム流域では、9月17日15時から18日6時にかけて累計で155.5mmの大雨となった。
- 殿ダムへ最大流入量は毎秒130m³(管理開始後最大)のうち毎秒110m³をダムに貯留。
- 殿ダムによる防災操作で、袋川中郷橋付近(ダム下流約10km、鳥取市国府町宮ノ下小学校付近)において約0.37mの水位低下ができたものと推定される。



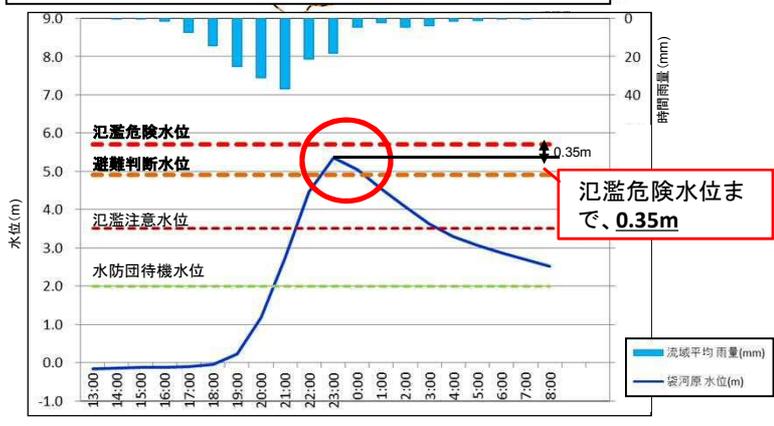
※数値は速報値であり、今後変わることがあります。

河川整備が効果を発揮(鳥取県 千代川水系千代川) (国管理)

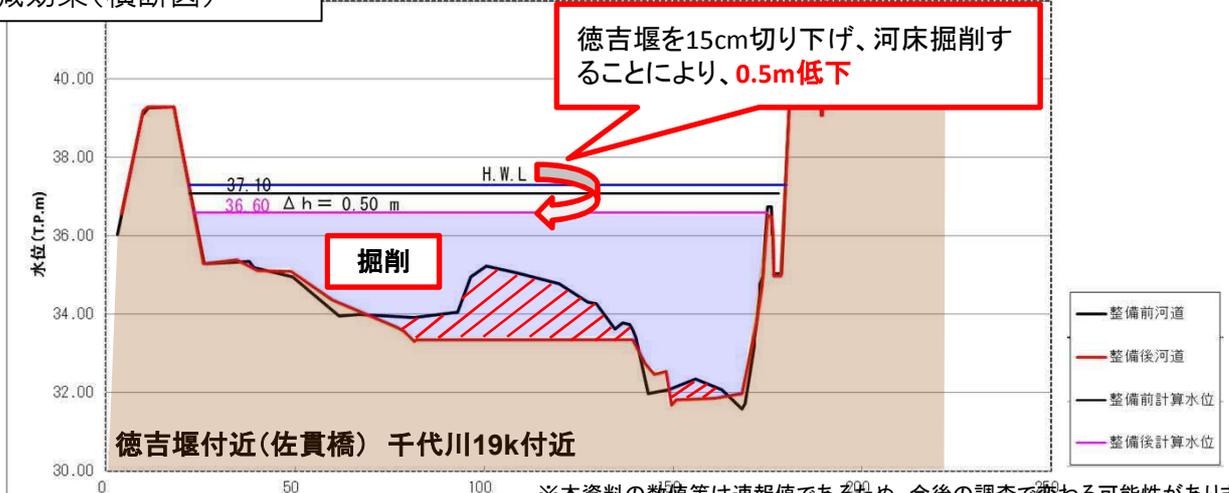
- 台風18号の影響により、千代川流域では平成29年9月17日から降り始め、流域平均累加雨量175mmを観測し、袋河原水位観測所(鳥取県鳥取市)では、避難判断水位を超過。
- 千代川では、平成26年から堰改修と河道掘削を行ってきたことにより、19.0k地点(鳥取市徳吉地区)では、**約0.5mの水位低減効果が図られた**。仮に事業を行っていなければHWLまで19cmのところまで上昇しており、降雨の状況によっては、さらに水位が上昇し、堤防決壊のおそれがあった。



袋河原水位観測所における水位の経過



水位低減効果(横断面図)



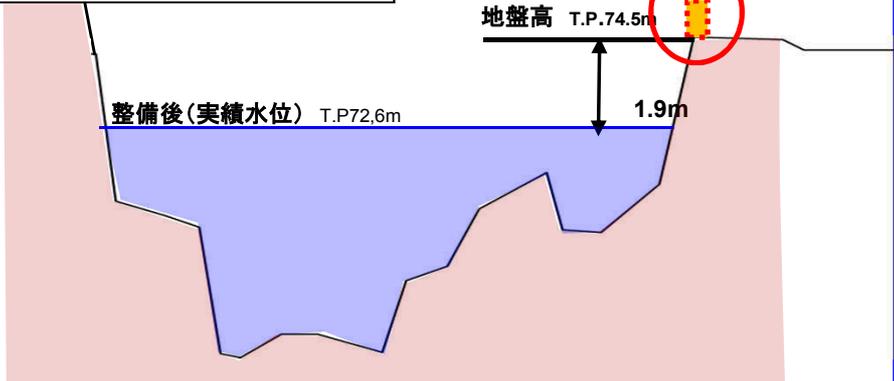
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

用瀬地区改修による効果を発揮(鳥取県 千代川水系千代川)

- 千代川 用瀬地区の改修については平成26年3月に整備が完了した。
- 近年では、平成10年10月洪水により国道53号の浸水被害を受けた。
- 平成29年9月台風18号では、**国道53号及び用瀬市街地の浸水被害を防ぐ事前対応**として、改修事業により整備した脱着式止水板を設置した。



横断図(水位状況)イメージ



過去の洪水 (平成10年10月)

整備後

脱着式止水板
※洪水時に設置



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。